

大学改革を担う 実務家教員 フェア

産学連携教育シンポジウム

産業界と大学が共に創る新しい大学教育 —産学連携教育の国際動向と日本の未来—

2月21日(金)
13:00-17:00
ホール A

★同時通訳あり★

21世紀社会におけるグローバル化や知識経済化を背景に、Society5.0(超スマート社会)に対応した高度人材育成のあり方が議論され、大学教育にも変革が求められています。そのカギを握るのが教育分野における産学連携です。産学連携を通して大学教育の実践性を高め、社会や地域のニーズに沿った人材育成を図る取り組みです。それは、日本でようやく動き始めた社会人の学び直しやリカレント教育の拡大にもつながり得るものとして期待が寄せられています。さらに、産業界の実践知と大学の学術知を架橋できる実務家教員の育成や活用についても取り組みや議論が広がっています。

こうした状況を受け、本シンポジウムでは、産学連携を通して大学教育をどのように変革していくことができるのか、すでに戦略的な取り組みを推進している海外事例も踏まえつつ考察し、日本の課題について議論します。ご関心をお持ちの企業関係者、高等教育機関の教職員、学生の皆様、奮ってご参加ください。

吉本 圭一 (九州大学 主幹教授)

クリス・ラッド (ジェームズ・クック大学シンガポール校 副学長・キャンパス長)
Professor Chris Rudd, Deputy Vice Chancellor and Head of Campus Singapore, James Cook University, Singapore

乾 喜一郎 (リクルート進学総研 主任研究員)

大学改革を担う実務家教員フェア

大学等高等教育機関における実務家教員の在るべき姿、実務家教員が活躍することの価値、実務家教員の活用方法について、国公私立大学における文理双方の取り組み事例を紹介すると共に、実務家教員育成・活用に向けた具体的なステップを本会参加者による意見交換を通して模索します。

実務家教員の活躍事例の紹介

実務家教員に関する経験談の共有

実務家教員育成プログラム提供拠点の活動計画

2月22日(土)
13:00-16:00
ホール A・B

designed by freepik.com

2020年2月21日(金)・22日(土)

ベルサール神田 (東京都千代田区神田美土代町7住友不動産神田ビル 2F) ホール A

参加費：無料 参加申込：www.ihe.tohoku.ac.jp→行事申込、もしくは右のQRコードへ

主催：文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」実施拠点

運営拠点：東北大学／熊本大学／大阪府立大学／立教大学、中核拠点：東北大学／熊本大学／大阪府立大学／立教大学、名古屋市立大学／岐阜薬科大学／高知県立大学／中京大学、社会情報大学院大学／日本女子大学／武蔵野大学／事業構想大学院大学、舞鶴工業高等専門学校／福島工業高等専門学校／長岡工業高等専門学校／福井工業高等専門学校／香川高等専門学校／放送大学

企画協力：株式会社イノベスト

事務局・問合せ

東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター Tel. 022-795-4471 Email. iehse-seminar@g-mail.tohoku-university.jp URL. www.ihe.tohoku.ac.jp

参加申込

